

# 美術科教育学会通信 No.111 2022年10月20日

□巻頭言 □理事会報告 第1回理事会 □第45回兵庫大会案内(第二次案内) □リサーチ・フォーラム案内  
□本部事務局より

## 巻頭言 Introduction: How to Use JAAEd and the Secretariat

### 学会活用と本部事務局

副代表理事 相田隆司(東京学芸大学)

Deputy Director: Takashi AIDA, Tokyo Gakugei University



#### 1. はじめに—第1回理事会をおえて—

2022年9月10日、今年度第1回目の理事会が無事滞るところなく終了いたしました。理事の皆さまと、第45回兵庫大会の大会実行委員長、勅使河原君江氏に御礼申し上げます。この理事会の議事のご報告につきましては、本通信掲載の「理事会報告 第1回理事会」をご覧ください。開催に際しましては、特に事務局ご担当の理事の皆様方にお世話になりました。この度は事務局内で頻繁に連絡を取りながらの理事会準備・実施となりました。

今回の理事会はオンライン参加と対面参加によるハイブリッド形式となりました。この理事会の開催形式をめぐっては2022年4月にオンライン審議にて実施された、2022年度第1回臨時理事会において対面開催としながらオンライン参加も可能な形式で行うこと、状況によっては全面オンラインビデオ会議として実施することが理事の皆さんに確認されています。ですがいうまでもなく、コロナについて見通しが持てない状況が今に至るまで続いています。実施にあたってはより慎重を期すため、8月に代表理事、副代表理事で対面実施の可能性につき改めて協議しました。そして、状況によりいつでも全面オンラインによるビデオ会議実施とできるようしながら、盆明けを目安に全国レベルのまん防・緊急事態になっていなければ対面開催の方向を継続し、そのうえで9月初頭に各理事の住む自治体で行動制限が出た場合、該当理事はオンライン参加へ変更頂くとしました。当然、状況が変われば、理事会開催のあり方もさらに変わっていたでしょうし、今回のことを通して事務局で共有できる何か模範になる解答のようなものが得られたとはいいいがたいですが、

この度の対面形式を含む理事会の開催の実現に向けては、本部事務局ご担当の先生方の協働による仕事というところが大きかったという実感が残っています。

#### 2. 学会活用のために

通信No.110(前号)の巻頭言で直江俊雄代表理事が自己創造に向けた学会の活用について述べられています。そこで、ここでは学会活用のための情報についてしたためます。と申しましても、お示しするのは、学会のWebサイト<<http://www.artedu.jp/>>や、毎号巻末に掲載される「本部事務局より Notice from the Secretariat」でお知らせしている内容と変わるところはありませんが、皆様にさらに学会を活用いただくために。

##### (1) 学会誌投稿や口頭発表エントリーと会費

会費を毎年7月末日までに納入ください。この会費(会計年度会費)は3月に開催される学会大会を開催すること、学会誌を刊行すること、本学会独自の研究会であるリサーチフォーラムを開催すること、等々の財源となります。納入状況は「会員 情報管理システム」にIDとパスワードでログインすることにより確認することができます【図】。学会誌への論文投稿や大会での口頭発表に際して、投稿や申し込みの時点で当該年度までの年会費をすべて納入済みであることとされていますので(美術科教育学会学会誌投稿規則第2条3及び大会発表規則第7条2)、学会を活用いただくためにまずはこの会費納入にどうぞご留意ください。

会費年度	合計金額	入金金	年会費	学会誌掲載料	購読会費		
2022	納付	8,000	0	8,000	0	0	領収書の発行
	請求	8,000	0	8,000	0	0	見積書・請求書の発行
2021	納付	8,000	0	8,000	0	0	領収書の発行
	請求	8,000	0	8,000	0	0	見積書・請求書の発行
2020	納付	8,000	0	8,000	0	0	領収書の発行
	請求	8,000	0	8,000	0	0	見積書・請求書の発行
2019	納付	8,000	0	8,000	0	0	領収書の発行
	請求	8,000	0	8,000	0	0	見積書・請求書の発行
2018	納付	8,000	0	8,000	0	0	領収書の発行
	請求	8,000	0	8,000	0	0	見積書・請求書の発行
2017	納付	8,000	0	8,000	0	0	領収書の発行
	請求	8,000	0	8,000	0	0	見積書・請求書の発行
2016	納付	8,000	0	8,000	0	0	領収書の発行
	請求	8,000	0	8,000	0	0	見積書・請求書の発行

【図】会員情報管理システム<SOLTI>マイページの「会費納付状況」の頁（部分）

## (2) 学会 Web サイト・学会通信等の活用

学会 Web サイトでは随時学会からのお知らせを掲載しています。新着情報はトップページに掲載されます。いま掲載されているトピックは新しいものから順に「InSEA 関連情報を掲載しました」、「美術教育研究関連の公募情報（鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻）」、「日本職業教育学会公開シンポジウムのご案内」、「美術教育学』第 44 号投稿案内、新テンプレートなどをアップしました。」（以下略）です。会員で研究会の開催告知等の掲載を希望される場合は、本部事務局までお知らせください。現在、この学会 Web サイトの、さらなるアクセシビリティの向上と活性化を目指したデザイン変更等が検討されています。

学会通信は、年間 3 回（6 月、10 月、2 月頃）発行しています。学会からのお知らせのほか、会員の皆様からの原稿を随時掲載します。寄稿のご希望があれば、発行日の 2 か月前までに本部事務局までお願いします。

## (3) お問い合わせや一斉配信メール

お問い合わせはメールで受け付けています。学会 Web ページのメニューにある「お問い合わせ」からお願いします。メールの件名には用件を明記の上、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入の上お問い合わせください。なお、「入会・年会費・会員資格に関するお問合せ」と「その他」で異なる窓口を設けています。

一斉配信メールは学会通信が公開（発行）された際にお出ししています。メールは、

<[g030aae-galileo@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g030aae-galileo@ml.gakkai.ne.jp)>より配信しますので、受信できるよう設定を確認いただきますようお願いいたします。一斉配信メールは、状況に合わせて柔軟に配信してまいります。

## 3. 学会活用：ひらめきとつながり

いま、時代の変革期にあるとされます。そして美術教育もまた、日々変動する社会状況と教育のなかで、それがより社会化した（学習経験と社会や生活とを架橋し学びを拡張・統合する）存在となるための、連携や探究の試みが真摯に行われています（ご記憶に新しいと思いますが、本年 3 月の美術科教育学会大会（東京）における 3 つの Keynote のコンセプトは「社会の変化、アートの変容、美術教育はどこへ」でした）。いうまでもないことですが、この益々の他者性の獲得のために、学会で私たちが共有する知を、斯界の外がわの人たち、まだつながりの生じていない人たちと共有していくための言葉や方法を紡ぎ出す、あるいは更新していく必要に迫られています。

一方で、これからの時代に堪えうる美術教育の姿をめぐる探究には、美術教育とは？という問い（本質論）がたたみ込まれています。例えば、問題提起／問題解決といった教育的機能と美術教育の内容等をめぐる問いは、再帰的に「子供がつくりだすこと」そのものをめぐる問いも呼び起こさせるようにです。学会はこの美術教育の更新とその本質をめぐる思索と実践つまり、美術教育の創造性を示すフロントラインの一つであり、私たちがそれを共有するための場でありましょう。この創造性をめぐって奥村高明氏がその著書で次のように述べられています。

『「ひらめき」は誰かが世界と十全に『つながった瞬間を表す言葉』なのだろうと思いました。』<sup>1)</sup>

奥村氏は、「ひらめき」とは何かという問いを通して「創造性」の姿に迫っていきます。そして、人がひらめくことを因果関係だけではなく縁起（つながりのなかで生まれる）としても描こうとすることの重要性を語りかけています。本学会も、私たちがそれぞれの「ひらめき」を持ち寄り、それがうみ出されたりする場であることをあらためて考えてみると、教育に否応なく求められる「有用性や有効性という因果」<sup>2)</sup>と適切な距離を保つことの大切さに改めて気づかされるのです。そして、学会活用は、私たちが美術教育をめぐる研究、教育実践、表現活動等々のなかでうみ出している様々な「ひらめき」を社会・生活の中で育てていくことにつながっていく、そのように思います。

本学会が会員のひらめきとつながりで満たされていくよう、これからも是非学会をご活用ください。

## 注

1) 奥村高明 有元典文 阿部慶賀編著「コミュニティ・オブ・クリエイティビティ—ひらめきの生まれるところ」、日本文教出版、2022 年、p. 234

2) 同、p. 224

# 理事会報告 Report on the Board of Directors Meeting

## 第1回理事会 1st Board of Directors Meeting

本部事務局 相田隆司（東京学芸大学）・吉田奈穂子（筑波大学）

2022年度第1回理事会は、2021年9月10日（土）13時30分から、東京新宿区の早稲田大学3号館702教室を会場に、対面とオンライン(ZOOM)によるハイブリッド形式（対面参加の理事はPC持参）で開催された。理事会冒頭、直江俊雄代表理事から本理事会開催の意義に関する旨の挨拶があった。対面出席した理事は11名、オンライン出席した理事は7名の、合計18名の理事が出席し、理事会成立条件が満たされていることが確認された。

また、第45回兵庫大会の大会主催者として勅使河原君江実行委員長がハイブリッド参加により同席した。理事会終了は、16時30分であった。

尚、第1回理事会の議事録は本部事務局員の吉田奈穂子（筑波大学）が作成し、それをもとに本理事会報告は作成された。

<第1回理事会>

日時：2022年9月10日（土）13:30～16:30 場所：早稲田大学3号館702教室、ZOOM

### 【審議事項】

#### I 総務部関連

##### 1. 第44回美術科教育学会東京大会の収支決算報告について

第44回東京大会の大会実行委員長である手塚千尋理事の資料に基づき、第44回東京大会の収支決算の説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

##### 2. 第45回兵庫大会の実施計画案について

勅使河原実行委員長より、第45回兵庫大会の実施計画について、第44回大会に引き続き新型コロナウイルスの感染の見通しが立たない状況であるため、完全オンラインでの開催とすることが報告され、大会企画として記念講演を予定していること等が報告された。審議事項については、①大会における口頭発表の総枠数を60（10セッション×5会場+予備10）とすること、②大会参加費徴収の意向、③大会記念講演予定者からの自著購入協力依頼について資料をもとに説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

山木朝彦理事から、審議事項②に関連して各理事からも既知の企業等に本大会協賛について説明・依頼すること、決定した大会協賛企業についての開催校から理事への報告依頼があった。

##### 3. 第46回美術科教育学会弘前大会について

直江代表理事より2023年度の第46回大会と開催までのスケジュール等について資料をもとに説明があり、弘前大学に担当いただくことが原案通り承認された。

##### 4. 新入会員及び退会者の承認について

相田隆司副代表理事より資料をもとに、新入会員申込者10名、退会・退会予定者6名について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。2022年8月26日現在の正会員数は627名となった。

##### 5. 学会HPリニューアル

手塚理事より学会HPの更新とそれに伴うデザイン変更等につき資料を基に説明がなされた。審議事項については、①現在契約中の（株）EDLとの契約を更新し同社の新システムへ移行、②持続可能なHP運営に向け掲載情報を精選する、③学会へのアクセシビリティ向上と活性化を目指しHPデザインを変更すること、についての3点である。審議の結果、原案通り承認された。大泉義一副代表理事から、HP掲載内容の更新方法や、会員への特別な情報提供等（特典）の検討に関する意見があった。

##### 6. 造形芸術教育協議会学会担当者案

直江代表理事より、資料をもとに担当者案の提案があり、本学会の造形芸術教育協議会担当者として三澤一実副代表理事の就任が承認された。なお、協議会出席予定者は直江代表理事、相田副代表理事、大泉副代表理事、三澤副代表理事である。関連して2022年度の協議会の開催予定は、いずれもオンライン形式にて第1回が令和4（2022）年10月16日（日）、第2回が令和5（2023）年3月19日（土）であることが報告され確認された。

##### 7. その他 なし

## II 研究部関連

### 1. 学会誌第 44 号の査読体制について

大泉副代表理事より、美術科教育学会誌第 44 号の査読体制と査読要領について資料をもとに報告があり、審議の結果、査読体制、査読要領とも原案通り承認された。

### 2. その他 なし

## III 事業部関連

### 1. 第 12 期（2022 年度-2024 年度）国際局委員の委嘱について

国際局長の中村和世理事より資料をもとに第 12 期の国際局委員の委嘱について報告があった。審議の結果、原案通り承認された。委員の方は次の通り（敬称は略した）。委員は、柳沼宏寿、佐藤真帆、湯川雅紀、渡邊美香（理事）、大島賢一、市川寛也、以上 6 名。アドバイザーとして福本謹一（監事）、福田隆真、仲瀬律久、山本朝彦（理事）、以上 4 名。オブザーバーとして直江俊雄（代表理事）、西村德行（理事）、以上 2 名である。

### 2. InSEA 世界大会における発表助成制度の実現に向けての予定

中村理事より、InSEA 世界大会における発表助成制度の実現に向けて検討したき旨が報告され、審議の結果承認された。あわせて、助成の具体的な内容や運営方法については国際局で検討し、第 2 回理事会にて提案される予定であることが確認された。

### 3. 学会 HP における InSEA 資料「InSEA の 2050 年ビジョン：教育の未来」（英語版・日本語版）の掲載について

中村理事より InSEA 資料の学会 HP への掲載について資料をもとに報告があり、審議の結果承認された。

## IV 代表理事資料について

直江代表理事より代表理事資料をもとに説明があった。代表理事資料の記載内容は、①運営所信（研究と取り組み支援、次世代研究者の育成）、②前ワーキンググループ提言を受けて、③造形芸術教育協議会学会統合に対する私見、④理事投稿のすすめ、の 4 項目で構成される。それらはワーキンググループからの提言（学会通信 110 号掲載：「美術科教育学会の運営改善に資する検討ワーキンググループの最終報告」参照）を継続的に検討することを中心に、今後の学会のあり方をめぐって直江代表理事が検討した内容を示すもので、会費・会員確保、大会運営、学会統合、外部委託、研究の社会化、新たな参加層の開拓など学会の運営や活動等全般にわたって具体的に多岐にわたる検討を行ったものとなっている。資料をもとにした説明後の意見交換では、大会参加者を増やすための開催時期の検討、大会の承認研修化への検討などの意見があった。

最後に、直江代表理事より、本代表理事資料への理事の意見を随時受け付けたき旨提案があり了承された。

## 【報告事項】

### I 総務部関連

#### 1. 会費納入状況について

相田副代表理事、郡司明子理事より、会員の会費納入状況（滞納）について資料をもとに報告がなされた。

#### 2. 会費減額措置の申請状況について

相田副代表理事より、会費減額措置の申請状況について資料をもとに報告がなされた。

#### 3. 第 1 回教科教育学コンソーシアム第 1 回理事会について

相田副代表理事より、「教科教育学コンソーシアム 令和 4（2022）年度第 1 回理事会議事録」、「教科教育学コンソーシアム 令和 4（2022）年度第 2 回理事会次第」、「第 1 回教科教育学コンソーシアム 論文編集委員会資料」について資料をもとに報告がなされた。

#### 4. 教科教育学コンソーシアム 令和 4（2022）年度第 1 回研究推進委員会議事録について

山木理事より、「教科教育学コンソーシアム 令和 4（2022）年度第 1 回研究推進委員会議事録」について資料をもとに報告がなされ、研究推進委員会が進める科研（基盤 B）に関わる当学会からの担当者の選出が必要であることが報告された。

#### 5. その他 なし

### II 研究部関連

#### 1. 『美術教育学-美術科教育学会誌』第 44 号の投稿状況、査読・編集日程について

大泉副代表理事より、第 44 号の投稿状況、査読・編集日程について資料をもとに報告がなされた。

## 2. 令和4年度（2023年3月発表）第20回『美術教育学』賞選考について

大泉副代表理事より、美術教育学第43号対象の賞選考委員の選定について資料をもとに報告がなされた。

## 3. 学会誌投稿（「学会誌投稿規則」に示されている「実践報告」「論説」及び「書評」等）について

大泉副代表理事より、実践報告投稿に関する事項の整備を引き続き行っていくことについて資料をもとに報告がなされた。

## 4. 韓国造形教育学会誌への論文投稿について

大泉副代表理事より、対応について資料をもとに報告がなされた。

## 5. その他

J-STAGE に投稿論文を掲載するための手続きのアウトソーシングに関する報告がなされた。また、関連して投稿数の減少に対する対応、論文執筆方法の共有のためのサポート方法、論文投稿の意義等に関する理解を深めるための方法等について研究部で検討を進めていく旨の報告がなされた。

## III 事業部関連

### 1. リサーチフォーラム実施予定について

三澤副代表理事より、2022年度美術科教育学会リサーチフォーラム in 東京・弘前、テーマ「共に考える2030年代の美術科教育における『造形遊び』の意義」の開催について資料をもとに報告がなされた。

### 2. InSEA 機関メンバーシップの更新

中村理事より、InSEA 機関メンバーシップの更新が2022年8月25日になされた旨報告がなされた。

### 3. 2023年度の活動計画

中村理事より、今期国際局で進める予定の事業として、InSEA 世界大会における発表助成制度の確立（【審議事項】III事業部関連2）、InSEA トルコ大会（2023年9月4～8日）の広報、海外会員特別枠（InSEA 会員含む）に向けての準備、学会誌論文「海外研究」枠（仮称）設置に向けての準備、以上をおこなうべく検討中である旨報告がなされた。

## IV 叢書企画編集委員会

叢書企画編集委員会からの報告について相田副代表理事から資料提示と報告がなされた。報告内容は以下の通り。

### 1. 美術科教育学会叢書企画委員会委員について

(ア) 委員長…佐藤賢司、(イ) 代表理事 直江敏雄、(ウ) 総務部担当副代表理事 相田隆司、  
(エ) 研究部担当副代表理事 大泉義一、(オ) 事業部担当副代表理事に代わる理事 山田芳明、以上5名。

### 2. 企画委員会の活動について

美術科教育学叢書第3号・4号については、2019-2021年度委員会が、編集業務を継続して行い、第5号企画編集より2022-2024年度委員が担当する。

### 3. 第1回叢書企画編集委員会（2022年9月2日～6日の間）の報告について

（議題1）本年度8月までの叢書販売実績の確認、（議題2）叢書3号・4号の進捗状況確認、（議題3）叢書第5号の内容について。

## V 【その他】 なし

(以上)



【理事会の様子から】

(撮影：相田、藤井)

## 第45回兵庫大会案内（第二次案内）

### Notice of the 45th Conference in Hyogo : Details about the Conference

第45回美術科教育学会 兵庫大会  
大会実行委員長 勅使河原君江（神戸大学）

第45回 美術科教育学会 兵庫大会  
大会開催日 令和5（2023）年3月26日（日）・27日（月）  
大会テーマ 「世界をとらえる方法としてのアート」

このたび第45回美術科教育学会兵庫大会をオンライン（リアル配信）にて開催することとなりました。対面での大会開催を楽しみにされていた方もいらしたかと思いますが、オンライン上でも参加者間のディスカッションが活発に行える様に開催方法を検討しております。また、オンライン開催によって様々な事情で対面での参加がままならなかった方も参加しやすくなるなど、その利点も期待できるかと思われまます。本大会では学会参加者による研究発表、大会記念講演として建築家・安藤忠雄氏による講演、大会企画として四つのシンポジウムなど2日間にわたっての開催を予定しています。皆様が研究成果を発信すると共に情報交換を通して多様な「世界をとらえる方法としてのアート」の発見へと繋がり、参加してよかったと感じていただける大会となりますよう、現在、大会実行委員会が中心となり準備を進めております。本大会への参加及び研究発表のご登録を心よりお待ちしております。

第45回美術科教育学会兵庫大会 実行委員長 勅使河原君江（神戸大学）  
副委員長 大西洋史（関西国際大学）  
大会事務局長 須増啓之（神戸親和女子大学）  
実行委員 栗山誠（関西学院大学）  
金子美里（関西福祉大学）  
前芝武史（兵庫教育大学）

## 第45回美術科教育学会 兵庫大会開催概要

- 主催 美術科教育学会
- 会期 令和5（2023）年3月26日（日）・27日（月）
- 会場 神戸大学会場よりオンライン開催
- 理事会・総会 未定
- 共催 神戸大学創立120周年記念事業
- 学会参加費  
兵庫大会では、参加費を徴収します。

	納付期間
	2022年12月1日～2023年3月27日
正会員	4,500円
非会員	5,500円
学生・大学院生等	2,500円

## ■参加登録・演題登録（口頭発表申し込み）／支払方法について

- ・希望される方は、下記の要領をご確認いただき、第45回美術科教育学会兵庫大会Webサイトへアクセスし、個人のアカウントを作成した後、参加登録・演題登録をしてください。
- ・兵庫大会 Web サイトは、オープン次第、美術科教育学会の学会HP（<http://www.artedu.jp>）にて URL を周知します。
- ・参加登録・演題登録の開始は2022年12月1日（木）です。

### (1) Zoomによるリアル配信による口頭発表者向け 参加登録・演題登録について

口頭発表の発表希望者は、演題登録を行います。

参加登録後、演題登録をしてください。

演題登録後、期限までに大会 Web サイト内投稿専用ページより発表概要を提出してください。

演題登録は2022年12月1日（木）～2023年1月6日（金）

参加費の支払い期限は2023年2月3日（金）です。

登録後、「参加登録受付メール」または「演題登録受付メール」が届きますのでご確認ください。

「研究発表概要原稿テンプレート」（Word）を兵庫大会 HP よりダウンロードして発表概要を作成してください。

発表概要登録期限は2023年2月3日（金）です。

### (2) 参加者（発表者以外） 参加登録について

参加登録の期間は2022年12月1日（木）～2023年3月27日（月）です。

### (3) 参加費の支払いについて

支払いは以下の2つの方法からお選びいただけます。

- ① オンライン決済（クレジットカードのみ）：VISA, MasterCard, JCB, AMEX, Diners Club  
参加登録後、個人アカウントよりオンラインによるクレジットカード決済ができます。  
※クレジットカードを選択すると個人アカウント内での領収書発行が可能となります。

- ② 銀行振込による決済

#### 【振込先情報】

銀行名：三井住友銀行
支店名：明石支店
口座番号：普通 6213520
名義：オオニシ ヒロシ

- ・参加者氏名と振込者氏名を必ず一致させてください。
- ・領収書が必要な方は、参加費の振り込み後に大会HPのフォームより申請してください。
- ・領収書の申請期間は  
2022年12月1日（木）～2023年3月27日（月）まで

## ■大会までのスケジュール

### (1) 発表者のスケジュール

参加登録・演題登録期間	2022年12月1日（木）～2023年1月6日（金）
発表概要集原稿 提出期間	2022年12月1日（木）～2023年2月3日（金）
参加費送金期限	2023年2月3日（金）
大会Webサイト発表スケジュールの公開	2023年3月1日（水）（予定）

### (2) 参加者のスケジュール

参加費送金期限	2023年3月27日（月）
大会Webサイト発表スケジュールの公開	2023年3月1日（水）（予定）

## ■大会日程(暫定版)

【1日目】2022年3月26日(日) 10:00～18:20

	全体会	大会企画	大会企画	研究発表A	研究発表B	研究発表C	研究発表D	研究発表E
時間	ウェビナー	Zoom 1	Zoom 2	Zoom 3	Zoom 4	Zoom 5	Zoom 6	Zoom 7
10:00～10:30	開会式							
10:30～12:00	安藤忠雄氏 記念講演							
12:00～13:00	昼休憩							
13:00～15:00		実行委員 企画①	実行委員 企画②					
15:10～15:40				研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
15:50～16:20		予備	予備	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
16:50～18:20	研究部会交流会は各研究部会がZoomを設定して開催 (大会HPにて各研究部会のZoomアドレスを掲載)							

【2日目】2022年3月27日(月) 9:00～17:35

	全体会	大会企画	大会企画	研究発表A	研究発表B	研究発表C	研究発表D	研究発表E
時間	ウェビナー	Zoom 1	Zoom 2	Zoom 3	Zoom 4	Zoom 5	Zoom 6	Zoom 7
9:00～9:30		予備	予備	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
9:40～10:10		予備	予備	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
10:20～10:50		予備	予備	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
11:00～11:30		予備	予備	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
11:30～12:30	昼休憩							
12:30～14:30		実行委員 企画③	実行委員 企画④					
14:40～15:10				研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
15:20～15:50		予備	予備	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
16:00～16:30		予備	予備	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
16:40～17:10		予備	予備	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
17:20～17:35	閉会式							

## ■研究発表について

### (1)発表資格

口頭発表は、本学会会員(申込み時点で、当該年度までの会費を完納していること)に限る。また、会員でない方も大会参加費を納めた場合、共同研究の発表が可能です。共同研究の場合は、筆頭発表者が会員であり、かつ会員でない者が発表者の半数を超えないこと。詳細は、学会HP(<http://www.artedu.jp/>)の「美術科教育学会大会発表規程第5章」を参照のこと。

### (2)発表区分

口頭発表(Zoom) : 30分(発表20分、質疑10分)参加者はZoom上で画面共有して発表並びに質疑応答を実施する。

●兵庫大会Webサイトは公開次第、美術科教育学会ホームページにてアクセス先をお知らせ致します。

【第45回大会に関するお問合せ】

兵庫大会実行委員会 事務局E-mail: 45th.arteduhyogo@gmail.com

【年会費・入会・その他会員資格等に関するお問合せ】

美術科教育学会本部事務局支局(ガリレオ学会業務情報化センター)

E-mail: g030aae-support@ml.gakkai.ne.jp

# リサーチフォーラム案内 in 東京・弘前

Notice of the Research Forum in Tokyo & Hirosaki

## 共に考える 2030 年代の美術科教育における「造形遊び」の意義

佐藤絵里子 (弘前大学)

STEAM 教育に代表される領域横断的な学びが浸透しつつある今、総勢 15 名の登壇者で「造形遊び」の歴史的・今日的意義を語りあい、その普及に向けた次の一手について考える会を開催いたします。注目すべき論点は、アートによる人間形成と教科との関わりです。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【第 1 回】は、「論争から協働へ—2030 年代の美術科教育における『造形遊び』の意義—」というテーマです。東京（四ツ谷）の CCAA アートプラザから、穴澤秀隆氏（元美育文化編集長、國學院大學栃木短期大学非常勤講師）、金子一夫氏（茨城大学名誉教授）、柴田和豊氏（東京学芸大学名誉教授）、宇田秀士氏（奈良教育大学教授）によるパネル討議の様態を同時中継いたします。その際、1990 年代後半に『美育文化』誌上で展開されたいわゆる「金子・柴田論争」「美術教育の位相論争」を手がかりとします。【第 2 回】は『造形遊び』の歴史、思想、子ども」をテーマとした講演会です。講師は穴澤秀隆氏、永守基樹氏（和歌山大学名誉教授）、佐藤賢司氏（大阪教育大学教授）です。【第 3 回】は『造形遊び』を捉える複数のまなざし—指針の形成に向けて—」をテーマとし、弘前会場からライブ中継を行います。主催者による研究成果発表に続くセッション①は、大嶋彰氏（滋賀大学名誉教授）、新関伸也氏（滋賀大学教授）、村田透氏（滋賀大学准教授 ※遠隔参加の見込み）、八嶋孝幸氏（弘前大学教育学部附属小学校教諭・教務主任）によるシンポジウムで、ゲストスピーカーとして塚本悦雄氏（弘前大学教授）が一部参加します。セッション②では、大島賢一氏（信州大学助教）、山下暁子氏（和光大学講師）、吉田奈穂子氏（筑波大学助教）と主催者で本会を総括し、今後の「造形遊び」の普及に関する指針を提案します。

### 1. 日程・タイムスケジュール

【第 1 回】2022 年 11 月 20 日（日）13:00 開始～16:30 閉会予定

13:00 本会の趣旨説明      13:15 パネリスト 4 名による発表

15:00 公開討論①「金子・柴田論争」の歴史的意義について

15:30 公開討論② 2030 年代の美術科教育における「造形遊び」の意義（質疑応答あり）

【第 2 回】2022 年 12 月 4 日（日）13:00 開始～16:00 閉会予定

13:00 あいさつ      13:05 講演①（45 分+質疑応答 10 分）

14:00 講演②（45 分+質疑応答 10 分）      15:05 講演③（45 分+質疑応答 10 分）

【第 3 回】2023 年 1 月 22 日（日）13:00 開始～17:00 閉会予定

13:00 主催者による研究成果発表      13:20 セッション①「造形遊び」を捉える複数のまなざし

14:40 ゲストスピーカーを交えた討論（質疑応答あり）

15:45 セッション②「造形遊び」の普及に関する指針の形成（若手研究者による研修会の成果発表）

16:45 質疑応答、意見交換

2. 開催方法：【第 1 回】と【第 2 回】では zoom ミーティングを用いたライブ配信を行います。【第 3 回】は、ハイブリッド開催方式とし、弘前会場（定員先着 20 名）から zoom ミーティングで同時中継します。

3. 【第 3 回】の会場：弘前れんが倉庫美術館 スタジオ B 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1（弘南鉄道大鰐線「弘前中央」駅）※ 駐車場はございません。公共交通機関か、近隣駐車場をご利用ください。

4. 参加費：無料（資料代なし）

5. 申し込み方法：参加ご希望の方は以下の Peatix のイベントページ URL もしくは右記の QR コードより、各回の前日までにお申し込みください。

Peatix のイベントページ URL ⇒ <https://peatix.com/group/11709632>

6. 問い合わせ先：弘前大学教育学部 佐藤 絵里子 [eriko0220@hirosaki-u.ac.jp](mailto:eriko0220@hirosaki-u.ac.jp)

7. その他：本会は、学会員以外の方にもご参加いただけます。本研究は、JSPS 科研費：19K14254 の助成を受けたものです。当日の天候や交通状況によって、一部を対面実施から遠隔実施へと変更する可能性があります。



## ■ 2022 会計年度までの会費納入はお済みですか

「2022 会計年度会費」は、2022 年 7 月末日までに納入いただくようお願いしています。3 月の大会、リサーチフォーラム、学会誌刊行などの学会運営は、会員の皆様の会費により運営されています。ご自分の各年度の年会費納入状況については、以下の「会員 情報管理システム」にログインすることにより確認が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/AAE>

なお、納入状況に疑問がある場合には、下記の本部事務局支局アドレスにお問い合わせ下さい。

### 留意事項

学会誌への投稿並びに大会での口頭発表に際しては、投稿や申込みの時点で以下の 2 つの条件を満たしている必要があります。

- ① 会員登録をしていること
  - ② 当該年度までの年会費を全て納入済みであること。
- \* 会費を 2 年間滞納した場合は、会員資格を失います。

会費納入に関するお問い合わせ先：

(株) ガリレオ 東京オフィス 担当者 和久津君子  
[窓口アドレス] [g030aee-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g030aee-mng@ml.gakkai.ne.jp)

## ■ 会費振り込み口座名・番号

会員の皆様に送付される振込用紙、郵便局にある払込用紙または銀行等からの振替により下記の口座に納入してください。

- ・銀行名： ゆうちょ銀行
  - ・口座記号番号： 00140-9-551193
  - ・口座名称： 美術科教育学会 本部事務局支局
- 通信欄には、「2022 会計年度会費」等、会費の年度および会員 ID 番号を記入してください。また、ゆうちょ銀行以外の銀行からの振込の受取口座として利用される場合は、下記内容を指定してください。
- ・店名(店番)： 〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)
  - ・預金種目： 当座 ・口座番号： 0551193

## ■ 大学院生等への会費減額措置(申請は毎年必要)

大学院生等は所定の手続きにより、年会費を半額(4,000 円)に減額する措置を受けることができます。会費減額措置を希望する大学院生等は、毎年、5 月中に各自、申請手続きをすることになっています。申請しない場合は、減額措置を受けられません。未だ手続きがお済みでない方は、学会ウェブサイトをご参照ください。

[http://www.artedu.jp/bbfet2or4-8/#\\_8](http://www.artedu.jp/bbfet2or4-8/#_8)

なお、本制度は、大学院生等に対する経済的な支援を目的として設けられています。指導教員の先生は、申請者が、以下のいずれかに該当するか確認の上、申請させて下さい。

- ① 勤務先を持たない「大学院生又は大学院研究生」である。
- ② 勤務先を持つが、「長期履修制度」等を利用し、当該会計年度の間、無給の「大学院生又は大学院研究生」である。

## ■ 住所・所属等変更、退会手続き

住所、所属先等に変更のあった方は、すみやかに本部事務局支局までご連絡ください。退会を希望される場合は、電子メー

ルではなく、必ず文書(退会希望日を明記してください)を郵送にて、本部事務局支局宛にお送りください。あわせて、在籍最終年度までの会費納入完了をお願いします。

美術科教育学会 本部事務局支局  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2 丁目 39-2-401  
(株) ガリレオ 学会業務情報化センター 担当 和久津 君子氏  
[窓口アドレス] [g030aee-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g030aee-mng@ml.gakkai.ne.jp)

## ■ 新入会員

2022 年 3 月 27 日開催の 2021 年度第 2 回理事会以降、8 月 26 日までに入会申込書が受理され、9 月 10 日の第 1 回理事会で入会が承認された方は下記の通りです。

渡邊 ゆかり・李 叢懋・有川 貴子・野田 路子・高橋 舞・小松 俊介・竹原 可奈子・長島 聡子・太田 礼穂・川口 隆司

## ■ 学会通信(藤井)

年間 3 回の刊行(6 月、10 月、2 月頃)を予定しています。紙面には、学会からのお知らせのほか、会員の皆様からの原稿を随時掲載します。寄稿のご希望があれば、発行日の 2 か月前までにお知らせください。

## ■ リサーチフォーラム(三澤)

リサーチフォーラムは学会主催として、研究発表・シンポジウムを実施する場です。募集等詳しくは学会ウェブサイト <http://www.artedu.jp/> のメニュー「リサーチフォーラム」をご覧ください。

## ■ ウェブ(手塚)

学会ウェブサイト <http://www.artedu.jp/> には、随時、学会からのお知らせを掲載しています。研究会の開催告知等の掲載を希望される場合は、本部事務局までお知らせください。

## ■ 一斉配信メール

年 3 回刊行される学会通信が公開された際に一斉配信メールにてお知らせします。[g030aee-galileo@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g030aee-galileo@ml.gakkai.ne.jp) より配信しますので、受信できるよう設定を再確認いただきますようお願いいたします。また、必要に応じて学会通信ではカバーできない案内をお伝えしていきます。一斉配信メールは、状況に合わせて柔軟に配信します。

(以上)

## 美術科教育学会 本部事務局

The Japanese Association of Art Education's  
Secretariat



- 〒305-8574 茨城県つくば市天王台1丁目1-1 筑波大学芸術系  
直江俊雄（代表理事）naoe@geijutsu.tsukuba.ac.jp  
吉田奈穂子（本部事務局員/会員名簿）yoshida.nahoko.gn@u.tsukuba.ac.jp
  
- 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学  
相田隆司（総務担当副代表理事/本部事務局長/庶務・会計・規約）t-aida@u-gakugei.ac.jp
  
- 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 群馬大学  
郡司明子（本部事務局理事/会費管理）gunji@gunma-u.ac.jp
  
- 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 明治学院大学  
手塚千尋（本部事務局理事/ウェブ）tetsuka@psy.meijigakuin.ac.jp
  
- 〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地 大分大学  
藤井康子（本部事務局理事/学会通信）fujii-yasuko@oita-u.ac.jp
  
- 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1丁目6-1 早稲田大学  
大泉義一（研究担当副代表理事/学会誌編集委員長）oizumi@waseda.jp
  
- 〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 武蔵野美術大学  
三澤一実（事業担当副代表理事/リサーチフォーラム統括/8団体連携会議）kmis@musabi.ac.jp
  
- 美術科教育学会 本部事務局 支局
- （株）ガリレオ（<https://www.galileo.co.jp/>） 学会業務情報化センター  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目39-2-401  
（担当者 和久津君子） TEL 03-5981-9824 FAX 03-5981-9852